

# 鳥



鶯笛

平成二十九年  
一月四日(水)から  
二月十七日(金)  
登録有形文化財  
「藤岡家住宅」にて



小鳥来て枝に好ミのあるらしく 玉骨

登録有形文化財「藤岡家住宅」管理法人

NPO法人うちのの館(やかた)

〒637-0016 奈良県五條市近内町526

☎とFAX 0747(22)4013

info@uchinono-yakata.com ・ http://www.uchinono-yakata.com

月曜休館・月曜が祝日のときは開館して翌日休館

大人(高校生以上) 300円・小人(小中学生) 200円 20名様以上2割引

橋本函雪画 暁鶏聲聲(あかつきとりのこえ)



土鳩



御殿玩具福雀



五条坂の小禽



雛子車



うずら車



梟笛

鶉 木製



玉骨画扇面 鶉



鶯



餌喰い鳥(ロシア)



宇佐八幡のおみくじ鳥



お鷹ぼっぱ



## 2017・新年「鳥」の展示について

丁酉（ひのととり）の歳に因み、「鳥」の郷土玩具、「鳥」を詠んだ句「鳥」を描いた掛け軸などを展示します

期間・1月4日（水）から2月17日（金）まで

場所・登録有形文化財「藤岡家住宅」／〒637・0016 奈良県五條市近内町526 ☎&fax (0747・22・4013)

午前9時～午後4時。月曜休館。月曜が祝日のときは翌日休館。維持管理ご協力金 高校生以上3000円・小中学生200円  
20名様以上2割引。俳句会・お茶会・会議・歌会などにご利用下さい。室料 大広間3000円・貴賓の間2500円（3時間）

### 藤岡玉骨の集めた郷土玩具「鳥」21点

**雉子車（きじぐるま）**（福岡県柳川）単純素朴、可憐なもので、郷土玩具の中ですぐれたものの一つ。荒削りにした雑木を輪切りにして車をつけ赤と緑の大胆な模様が美しい

**笹野彫・お鷹ぼっぼ**（山形県米沢）米沢市外、の山村、笹野に古くから伝わる削りかけによる木彫の縁起物。毎年1月17日、名刹笹野千手観音の縁日に売り出され沢クルミ、アブラコなどの木を山刀で彫り削って淡彩色を施す。大同2年（807）同観音建立の頃から作られ、藩主上杉鷹山が安永の頃産業奨励の一策として農民の副業に作らせた

**梟笛（ふくろうふえ）**（福岡市西公園）土製玩具の中でもユーモアをもったもので多少表現の上に特色をもつ幾つかの種類がある

**うずら車**（宮崎県八代・広瀬町）八代の法華嶽薬師と広瀬町の久峰観音の門前で、古くから売られてきた素朴で古典的は味のある名玩である。由来伝説はいろいろあるがもっともらしいものをあげると、大同2年寺院建立の際に打ち込んだ手斧にヒントを得て百濟から帰化した人が100歳を迎えたとき、寿命をさづけようと作った。長寿開運。安産の縁起がある

**鶯（うそ）替え神事の鶯**。うそ替えは、主に菅原道真を祭神とする神社（天満宮）において行われる神事で、鶯（ウソ）という鳥の名が嘘（うそ）に通じることから、前年にあった災厄・凶事などを嘘とし、本年は吉となることを祈念して行われる。鶯替え神事は太宰府天満宮、亀戸天神社、大阪天満宮、道明寺天満宮など有名で、九州では住吉神社等でも行われる。木彫りの鶯の木像である木うそを「替えましょ、替えましょ」の掛け声とともに交換しあう。鶯は雀に似た鳥で、道真公が遭難のときの救い鳥とか公が愛した梅の花の咲く頃やってくる可愛らしい野鳥ともいう。玩具はこれをかたどった象徴的な雅味ゆたかなもので、開運招福のしるしとされている

**宇佐八幡のおみくじ鳩**（大分県・宇佐八幡宮）おみくじ鳩は鳩替という名で、有名な太宰府の天満宮で行う鶯替の神事にならって行われるもので土製の小鳩を使用している

**鶯笛**短い青竹の管でつくった笛で、管の上に同じ青竹でつくった小さなウグイスをつけたものもある。指で管の両端を押さえ、その指の頭で風口の開き加減を調節しながら吹いて、ウグイスの鳴き声に似た音色を出す

**土鳩** 郷土玩具の一種。土鳩は各地の神社で作られ、古くから子どもの病気に霊験をもつという言い伝えがある

### 鳥を描いた軸・屏風・鳥を詠んだ軸

**暁鶏聲（あかつきのけいせい）**（軸）橋本函雪画 昭和7年新巻月

暁鶏（ぎょうけい）とは、夜明けを知らせる鶏の声。昭和7年（1933）の歌会始の「お題」であった。『古事記』では天照大御神が天石屋戸におこもりになったとき、「常世の長鳴鶏を集へて鳴かしめた」とあり、大御神が岩戸からお出になったときは「高天原も葦原中国も（天上の世界もこの現し世も）自づから照り明りき」と記されている

**鷹図屏風**（六曲一双）江戸時代後期2場面、12ヶ月の鷹が描かれている。鷹匠の鷹のように縛られず自由に飛翔しているのが特徴

**鶉（ひたき）**「鶉とは翁の鳥と書かれたり」高浜虚子より藤岡玉骨へ 還暦の祝句

**ホトトギス**「ほととぎす啼くと女人の耳ざとく」藤岡玉骨 喜寿の軸

**雉子（きぎす）**「山めぐり巢を守る雉子翔（た）たせつつ」藤岡玉骨 栄山寺句碑拓本軸

**鶉**「一チの鶉の思ひあがれる羽搏（はうち）かな 藤岡玉骨画扇面



鳥の詠  
おみくじ鳩  
土鳩

いひ  
おみくじ鳩  
土鳩